

財政難なのに富津市の 3 倍！

本年 3 月議会に「政務調査費の減額を求める請願書」を出しましたが不採択となりました。学校教育費が増額出来ないほど「財政状況がきびしい」のであれば、昨年 3 月に政務調査費を増額したことは間違いであり、**議員自らが身を削り、財政を助けるのは当然のことだと思います。私は議員が身を切る政治姿勢をつらぬきます。**

4 市の政務調査費比較表	木更津	君津	袖ヶ浦	富津
議員の政務調査費(年間)	240,000 円	360,000 円	240,000 円	120,000 円

身近な議会を目指して！

市民団体とともに議会改革を進める 4 つの請願・陳情を 3 月議会に提出しました。

- ① 議会基本条例の制定を求める請願 (**議会改革の柱となる条例**。全国 160 以上の自治体が制定)
- ② 議会報告会の実施を求める陳情 (**議会全体として説明・対話を行う**ことで信頼ある議会となる)
- ③ 議会のオンデマンド配信を求める陳情 (**インターネットでいつでも議会を見る**ことができる)
- ④ 議案に対する議員個別の賛否公表を求める陳情 (**誰が何に賛成したのか知る**事が出来る)

3 月議会では継続審査となり、6 月議会において**残念ながら不採択**となりました。

木更津は議会をケーブルテレビで中継していて、袖ヶ浦ではインターネットで見ることが出来ます。

君津も開かれた議会を目指し、今後も議会改革の必要性を訴えていきます。

津波を考慮していない保育園の建設

神門保育園は築 40 年以上がたち、老朽化から移転が決まりました。移転先は小糸川沿い、周西公民館横の人見グラウンドです。この計画は震災前に始まった計画で、「**津波避難は加味していない**」と行政も認めています。

6 月 2 日の本会議において(仮称)新神門保育園の避難先の高台は、大和田社宅E棟付近で園児の足で 25 分かかるとの答弁がありました。災害時に**園児を 25 分歩かせる**ことに問題はないのでしょうか。問題点として

- 1 点目、道のりにして 1 キロ以上ある事
- 2 点目、津波の進行方向と逆方向への避難であること
- 3 点目、大和田社宅斜面はハザードマップで「**がけ崩れ注意**」とあること

これらはすべて「千葉県津波避難計画策定指針」に反していることです。

(仮称)新神門保育園は **100 人近い園児の命を預かる場所**であり、数十年後も間違いなく使う施設です。今の計画のままでは平屋建てで、屋上にも避難できません。せめて 2 階建て、あるいは屋上に避難できるように設計の見直しを求めましたが、議会ではそのまま可決されました。

「東日本大震災を教訓にする」という考えが通らなかった事が残念でなりません。

原発は止めるべきと考えます。

よく聞かれるのではっきりと表明しておきます。原子力発電所について、**私は安全に止められるべきものから順次止めていくべき**だと考えます。「原発が止まったら大変な電力不足になる」という情報は、完全な第三者の見通しではないので、精査する必要があります。

君津市議会議員 すなが和良